

学校だより

鳳至 ~ふげし~

輪島市立鳳至小学校
第2号 (№411)
令和2年5月11日

「わたしにできること」

ハチドリのひとつ

辻 信一

森が燃えていました
 森の生きものたちは、われ先にとにげていきました。
 でもクリキンディという名の
 ハチドリだけは、行ったり来たり。
 口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは、
 火の上に落していきます。
 動物たちがそれを見て、
 「そんなことをして、いったい何になるんだ。」
 と言って笑います。
 クリキンディはこう、答えました
 「わたしは、わたしにできることをしているだけ。」

出典・「ハチドリのひとつ」 光文社刊



これは南アメリカの先住民(=インディオ)に伝わるお話です。2011年3月11日に東北地方の太平洋側を中心に東日本大震災が起こった後は、道徳の授業でもよく使われました。また環境についての学習でも教材としてよく使われていました。ハチドリというのはその種類によって差はありますが、体長5~10cm、体重2g~20gという非常に小さい鳥です。ハチはその名の通り“蜂(はち)”を表し、花の蜜を主食とします。話しを戻しましょう。クリキンディという名の小さなハチドリは、大きな森が燃え広がろうとする中で、他の生き物たちに笑われても、大切な森を守ろうと、自分が出来る「一滴ずつ水を運ぶ」ことを繰り返します。

さて、今、世界中が、新型コロナウイルス感染症が広がることを防ぐために、様々な我慢をしています。「早く何とかしなければならぬ」と感じながら、でも「自分一人では何も出来ない」と自信をなくしてしまっている人も少なくないでしょう。そんな時だからこそ、このお話のクリキンディの姿や言葉に込められた思いを考えてみて欲しいと思います。「自分の力は小さいかもしれないけど、まずは自分が出来ることをしよう」という前向きな気持ちや勇気を持って欲しいと思います。

- ・コロナウイルスに感染しないように手洗いやうがい、部屋の空気の入れ換えをこまめに行うこと。
- ・家族のために、自分が出来るお手伝いを見つけてやること。
- ・学校が休みでも規則正しい生活をして、自分の健康を守ること。
- ・時間をかけてじっくりと本を読んでみる。
- ・兄弟姉妹の手助けをすること。
- ・ニュースや新聞を見て、今、世の中では何が起きているのかを探ってみること。

考えてみれば、その人によって、「自分が出来ること」はいろいろとあるのではないのでしょうか？

そして、そのことが、自分の不安をなくしたり、休校が終わって、また学校に登校できるようになった時、友だちと協力して生活できる力を強くしてくれたりします。

『STAY HOME = スティホーム』が求められますが、家の中でも、自分に出来ることはたくさんあります。今こそ、『鳳至っ子』の頼もしさを見せるときです。

学校長 山岸 茂 樹

鳳至小学校の前期委員会紹介

令和2年度鳳至小学校の前期委員会のメンバーを紹介します。



男・女	代表委員会	放送委員会	保健・環境委員会	図書委員会	給食委員会	飼育委員会	体育委員会	掲示委員会
5の1 20・16								
6の1 10・11								
6の2 9・11								
児童数								
活動場所								
指導教諭								



委員会の発足会でもがんばりました

引き続きコロナ対策をお願いします

全国的に見ると、新型コロナウイルス感染症は少しずつ収束に向かってきているように思えます。しかし石川県はまだまだ病床数も不足し、危険な状態であることになんら変わりありません。マスク着用や手洗いなどをこれまで同様に実施するとともに、不要不急の外出を控えていただくようお願い申し上げます。

※18~22日は電話確認の週、25・26日は2回目の家庭訪問となります。また後ほど学校メールでもお知らせいたします。